

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第3区分
 【発行日】令和5年11月24日(2023.11.24)

【公開番号】特開2022-80537(P2022-80537A)
 【公開日】令和4年5月30日(2022.5.30)
 【年通号数】公開公報(特許)2022-095
 【出願番号】特願2020-191666(P2020-191666)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 1 / 3 8 7 (2 0 0 6 . 0 1)

10

【 F I 】

H 0 4 N 1 / 3 8 7 1 1 0

【手続補正書】

【提出日】令和5年11月15日(2023.11.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

印刷物を読み取ることによって得られた第1の画像と、当該印刷物の印刷元に対応する電子文書とに基づいて、差分画像を生成する生成手段と、

前記差分画像に基づき、前記印刷物に対して加筆された校閲に係る指示と、前記電子文書における前記校閲の対象となる文字列と、を特定する特定手段と、前記校閲に係る指示と前記校閲の対象となる文字列とに基づいて、前記電子文書に対して所定の処理を実行する実行手段と、

を備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項2】

30

前記生成手段は、前記第1の画像と、前記電子文書のレンダリングにより得られる第2の画像との間の差分に基づいて、前記差分画像を生成する、ことを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項3】

前記実行手段により実行される前記所定の処理は、前記校閲に係る指示が削除であった場合、前記電子文書において前記校閲の対象となる文字列を削除する処理である、ことを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項4】

前記実行手段により実行される前記所定の処理は、前記校閲に係る指示が他の文字列への修正であった場合、前記電子文書において前記校閲の対象となる文字列を前記他の文字列に修正する処理である、ことを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

40

【請求項5】

前記電子文書は、所定のマークアップ言語に基づき記述された電子文書であることを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項6】

前記特定手段は、さらに、前記電子文書中の一連の文字列の中から前記校閲の対象となる文字列と一致する文字列の候補を検索し、前記実行手段は、前記電子文書に対して、前記検索された文字列がハイライトされるための加工を施す、ことを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項7】

50

前記印刷物の印刷元に対応する電子文書は、前記第 1 の画像中における前記印刷物の所定の領域に対応する部分画像の解析の結果に基づいて特定される、ことを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 8】

前記印刷物の印刷元に対応する電子文書は、前記第 1 の画像中に記載されている URL またはディレクトリパスを示す文字列、もしくはバーコード情報の解析の結果、の少なくともいずれかに基づいて特定される、ことを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 9】

前記電子文書は、テキスト形式の電子文書である、ことを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 10】

情報処理装置が実行する情報処理方法であって、

印刷物を読み取ることによって得られた第 1 の画像と、当該印刷物の印刷元に対応する電子文書とに基づいて、差分画像を生成する生成ステップと、

前記差分画像に基づき、前記印刷物に対して加筆された校閲に係る指示と、前記電子文書における前記校閲の対象となる文字列と、を特定する特定ステップと、

前記校閲に係る指示と前記校閲の対象となる文字列とに基づいて、前記電子文書に対して所定の処理を実行する実行ステップと、

を有することを特徴とする情報処理方法。

【請求項 11】

コンピュータを、請求項 1 乃至 9 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置の各手段として機能させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明に係る情報処理装置は、印刷物を読み取ることによって得られた第 1 の画像と、当該印刷物の印刷元に対応する電子文書とに基づいて、差分画像を生成する生成手段と、前記差分画像に基づき、前記印刷物に対して加筆された校閲に係る指示と、前記電子文書における前記校閲の対象となる文字列と、を特定する特定手段と、前記校閲に係る指示と前記校閲の対象となる文字列とに基づいて、前記電子文書に対して所定の処理を実行する実行手段と、を備えることを特徴とする。

10

20

30

40

50